

「ひろしま住まいづくりコンクール2022」の審査結果について

1 要旨・目的

本県の住環境向上と住宅産業の活性化を図るため、県とひろしま住まいづくり支援ネットワークの共催により開催した「ひろしま住まいづくりコンクール2022」の審査結果を報告する。

2 現状・背景

ひろしま住まいづくりコンクールは、平成22年度から毎年度実施してきており、今年度で13回目となる。毎回、多数の作品が応募されている。

3 概要

(1) 実施主体

土木建築局住宅課、ひろしま住まいづくり支援ネットワーク

(2) 実施期間（日時）

作品募集	令和4年8月1日～8月31日
入賞候補作品の選考	令和4年10月5日
現地審査	令和4年11月15日、16日
最終審査	令和4年12月5日

(3) 場所（応募対象）

広島県内の住宅

(4) 実施内容

リフォーム部門、新築部門及び空き家再生部門の3部門で、応募があった28作品について、ひろしま住まいづくりコンクール2022審査委員会において審査し、広島県知事賞及び各部門の優れた作品を次のとおり選定した。

ア 広島県知事賞

作品名	受賞者
M House	原田 直実 [原田直実建築設計事務所]

イ リフォーム部門

賞	作品名	受賞者
最優秀賞	「その先」を感じる住まいに。	西田 寿美世 [株大之木ダイヤモンド]
奨励賞	魅力を再発見リノベ～受け継いだ商家の古民家～	山口 明知 [株トータテリフォームセンター]

ウ 新築部門

賞	作品名	受賞者
最優秀賞	House F	藤森 雅彦 [藤森雅彦建築設計事務所]
優秀賞	自然と暮らす家 - “緑の間”を通り抜ける『微気候』-	鍵山 昌信 [アティエス環境建築設計事務所+ asazu design office]
優秀賞	中野の家	伊瀬 和裕 [株テトラワークス]

エ 空き家再生部門

賞	作品名	受賞者
最優秀賞	古きが活きる瀬戸霧の家	永本 清三 [永本建設(株)]
優秀賞	庭とつながる暮らし愉しむ家	田辺 靖子 [さくら建設(株)]
優秀賞	大阪から広島へ移住～古民家購入からの再生～	伊達 風雅 [有 道 建設]

注：受賞者（建築主、設計者、施工者等）は、代表者を記載

4 今後の予定

- 表彰式を令和5年3月下旬に行う。（日程調整中）
- 作品集の配布や、各市町で開催するパネル展示会により、「ひろしまの住まいづくり」を積極的に発信する。
- 関係者の同意が得られれば、県内の住宅建築に携わる方（学生等）を対象とした現場見学会を実施する。

<参考>

1 ひろしま住まいづくりコンクール2022審査委員会

	氏名	所属
委員長	栗崎 真一郎	広島工業大学 教授
委員	高橋 傑	(独法)住宅金融支援機構中国支店 支店長
	井本 健一	(公社)広島県建築士会 会長
	福山 雅也	(一社)広島県建築士事務所協会 副会長
	山田 孝延	(公社)日本建築家協会中国支部 表彰委員長
	原 正	(一社)広島県建築センター協会 理事長
	瀬崎 敏正	広島県住宅産業三団体協議会 (一社)広島県住宅産業協会 理事長
	藪根 拓	(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部 広報渉外委員
	的場 弘明	広島県土木建築局 総括官 (建築技術)

2 主な受賞作品の概要

(1)広島県知事賞 (新築部門)

(作品名) M House (所在地) 広島市

閑静な住宅地に位置する親子二世帯が暮らすための新築の作品。

周囲からの視線に配慮した囲まれた外観と、自然の光を取り入れるようにプランニングされた室内と庭の繋がりによって、開放感と安心感を同時に得られる住宅となっている。

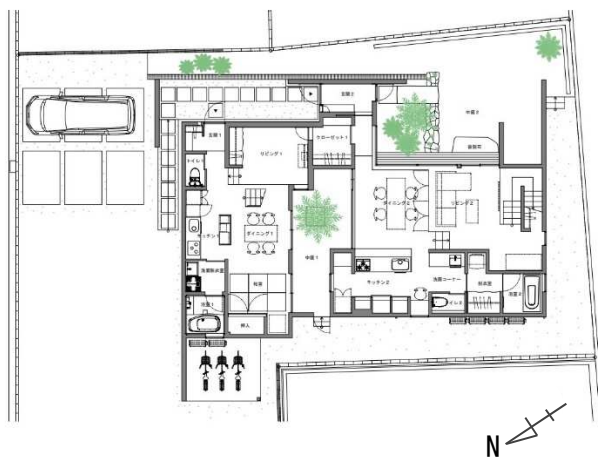
建物の中心に親子共有の中庭が設けられ、囲まれた路地のような空間がお互いの気配を感じさせ、それぞれの世帯にちょうど良い距離感を生み出している。



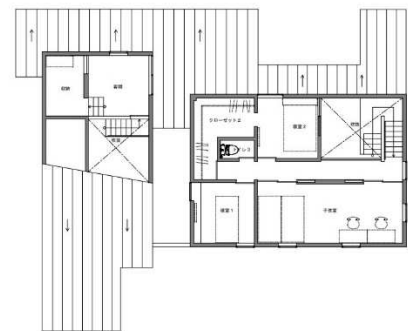
外 観



L D K



1階平面図



2階平面図

(2) リフォーム部門最優秀賞

(作品名) 「その先」を感じる住まいに。 (所在地) 呉市

一般的なマンションの一室をリフォームした作品。

空間の広さ、訪問の多いゲストと家族の動線分離、家事負担の軽減、等の要望を限られた空間で実現し、施主の思い描く将来のライフスタイルを形にしている。

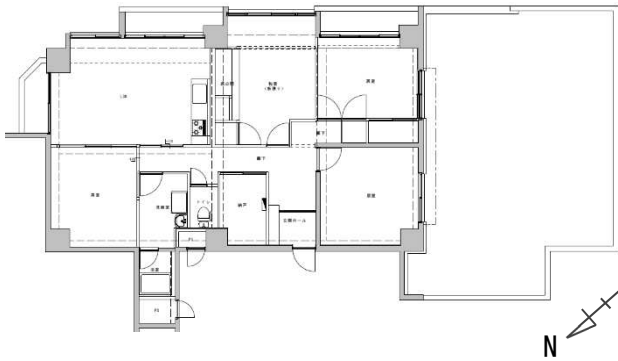
天井の断熱材施工はもちろん、広い玄関ホールとリビングをガラスで仕切ることで、実面積以上の広さを感じさせつつも玄関からの熱の出入りを抑え、居住性を向上させている。



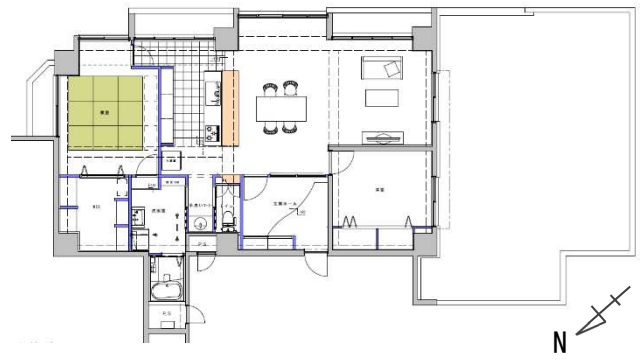
玄関ホール



LDK



平面図 (リフォーム前)



平面図 (リフォーム後)

(3) 新築部門最優秀賞

(作品名) House F (所在地) 広島市

中高層建物や2階建の住宅に囲まれた住宅地に計画された新築平屋の作品。

周辺の高い建物に対して平屋であるギャップを凹凸のあるボリュームによって外観的に調和を図った特徴的な外観である。

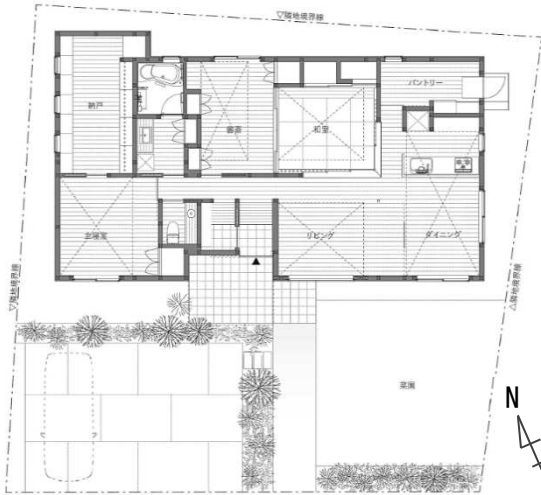
また、この凹部はハイサイドライト (高窓) が設けられ、外部からの光や風を取り入れる環境装置として、室内を明るく風通しの良い空間としているとともに、各部屋を緩やかに区切る役割を果たしており、壁で仕切ることで得られない心地よい居住空間を生み出している。



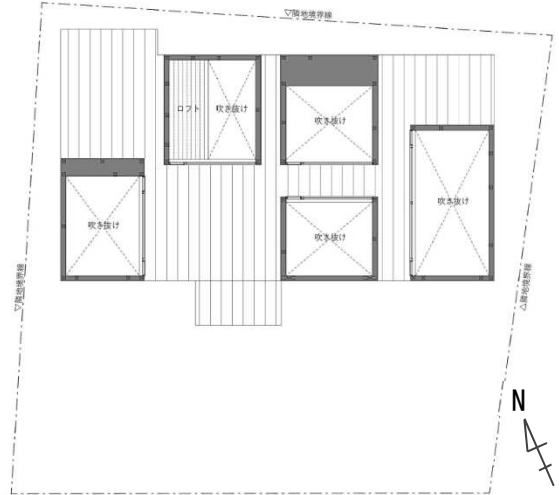
外観



リビングと和室



平面図①



平面図②

(4) 空き家再生部門最優秀賞

(作品名) 古きが生きる瀬戸霧の家 (所在地) 江田島市

築年数は約80年、5年間空き家であった古民家を改修し再生した作品。

既存の構造体を残す箇所や補強方法などを施主、設計、施工それぞれの立場から慎重に検討を積み重ねたことで、古民家の立派な木組みを残しながら断熱性、耐震性を向上させている。



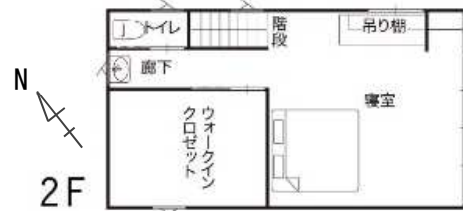
リビング



外観



2階平面図 (リフォーム前)



2階平面図 (リフォーム後)



Before 1F

1階平面図 (リフォーム前)



After 1F

1階平面図 (リフォーム後)